



ウランバートル市における 廃棄物管理の現状

環境・公害・廃棄物局 局長
デルゲルバヤル・バダム



ウランバートル市における 廃棄物管理の現状

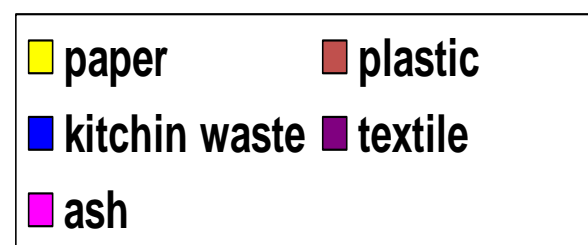
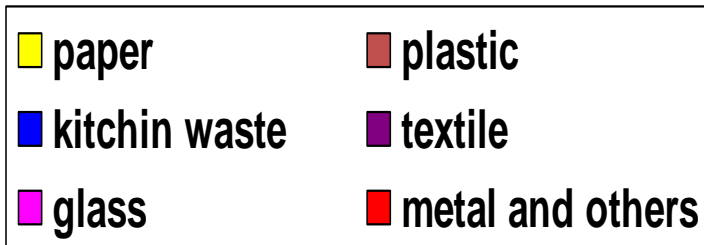
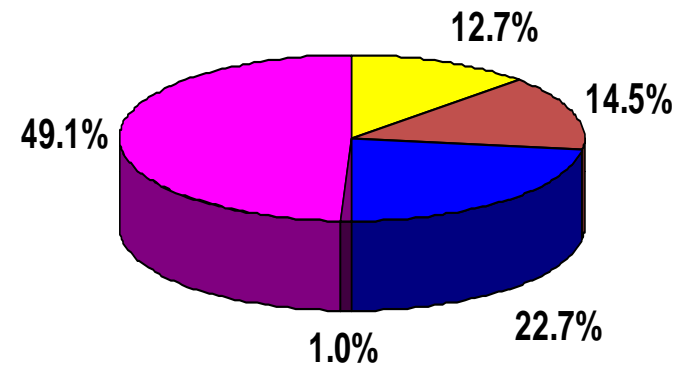
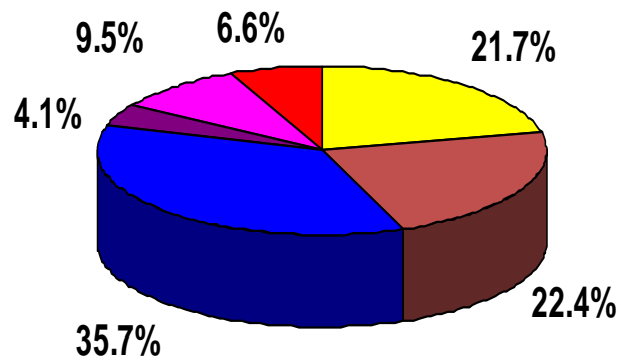
- ウランバートル市の面積は4701.4千キロ^{ヘク}。9の地区から成り、人口は現在100万人で急増中。
- 年間平均210-260千トンのゴミは廃棄されている。アパート居住者は0.235キロ / 日、ゲル地区居住者は0.956キロ / 日のゴミを排出。



家庭ゴミの内訳

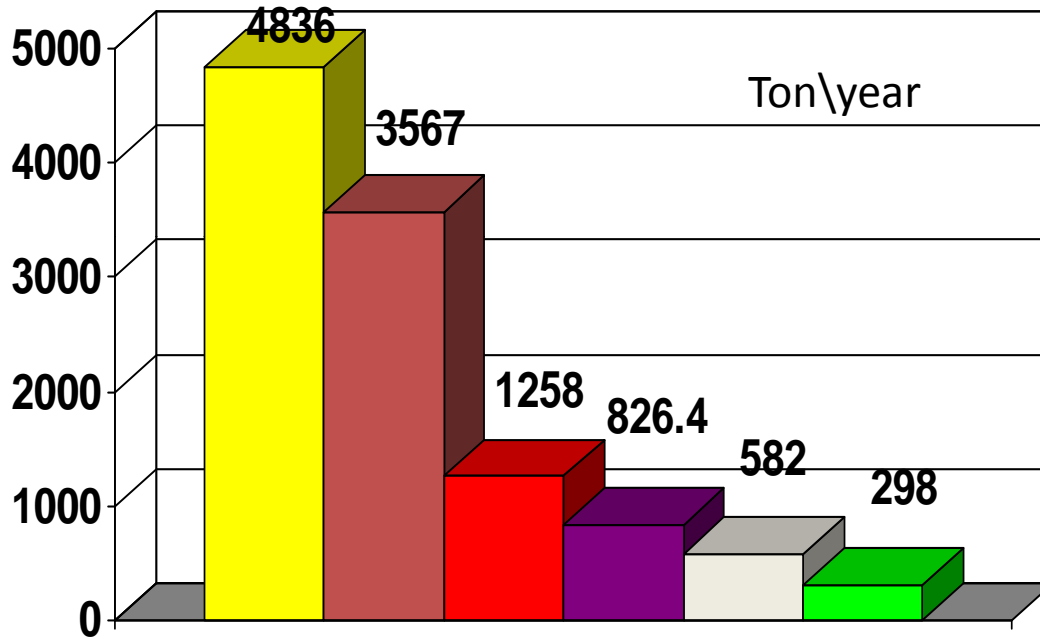
夏季

冬季





民間業者によるゴミ再利用品の の輸出内訳



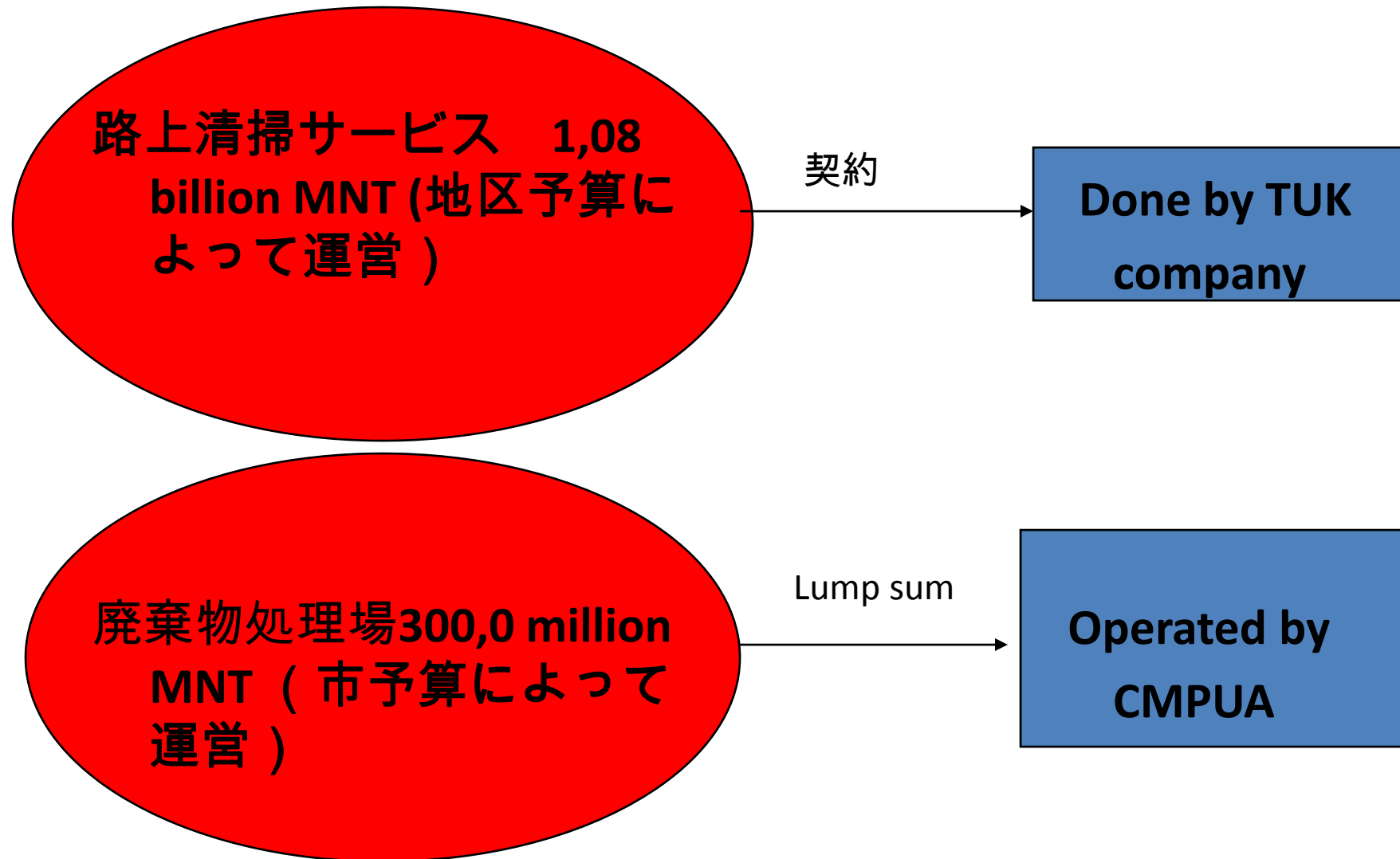
再利用品の年間輸出
-11 300 ton

Total export -3.1 billion MNT





市の運営による 廃棄物管理サービス





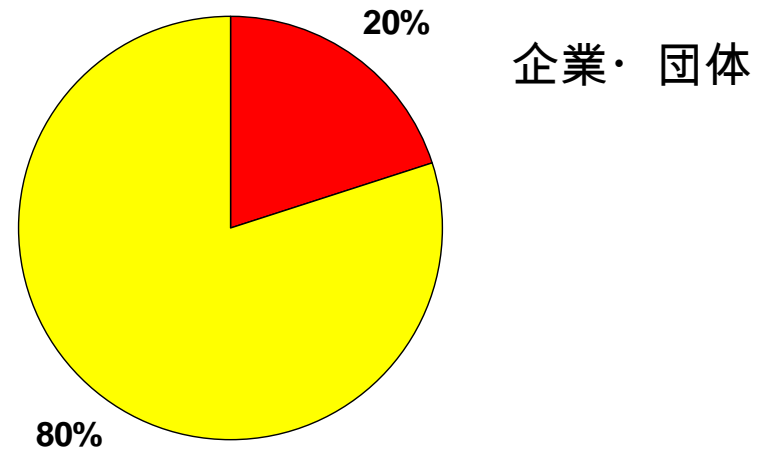
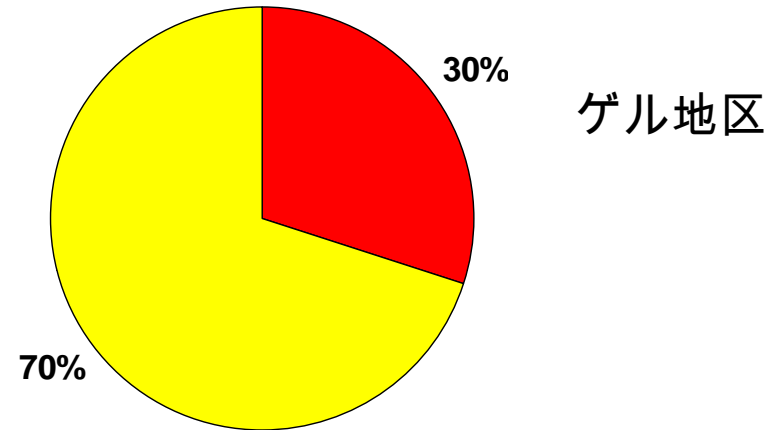
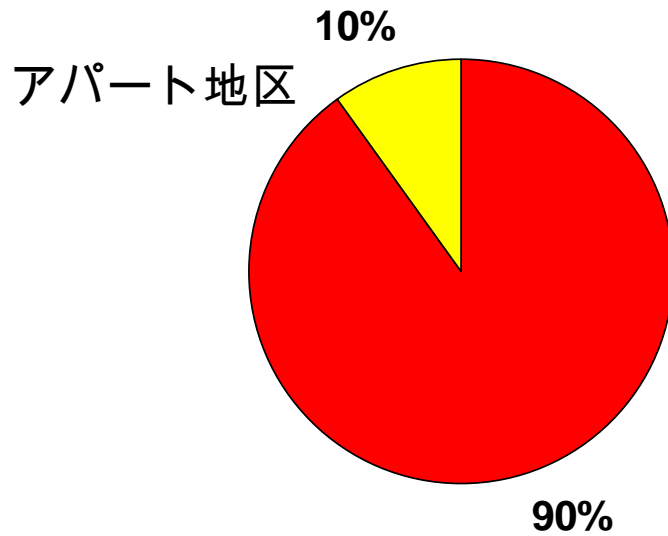
ゴミ回収料金の回収率



回収



未回収





廃棄物管理に関する課題

- 廃棄物の回収料金の徴収率は、ア
パート地区では90%以上だが、収入
が少なく貧困率の高いゲル地区では
30%に満たない。
また、廃棄物の回収サービスもゲル
地区では40%程度でしか行われてい
ない。そのため、ゲル地区ではゴミ
の不法投棄が行われている。



- 安定した資金の確保と非営利事業運営の難しさ等の理由から、民間が廃棄物回収・運搬事業へ参入するインセンティブが少ない。
- 資金確保や金融システムの困難等による高いリスクにより、各地区の廃棄物予算や運搬会社は赤字が続いており、回収のための機器や車両の改良等を一層困難にしている。



廃棄物管理分野の課題解決に向けて

- ゲル地区でのゴミ回収料金の見直しや新しい廃棄物管理システムの検討（ゴミ回収料金を電気料金と一緒に徴収するなど）
- 現在の直接住民から料金を徴収するシステムから、税込システムにする。そのために環境税やリサイクルできない製品に対する課税など、法整備を検討する。
- 廃棄物サービス予算に関する法規制を改定し、新しい資金システムを検討する。

- ゴミ回収料金や運搬料金が物価上昇やインフレに対応して変動できるようにする。
- 廃棄物サービス業分野への投資インセンティブをつくり、官民協力を促進する。
- 道路清掃・緑地の管理などの事業を民間に託し、市場原理を導入する。
- ゴミ分別やリサイクル工場の建設などを民間との協力により策定・実施する。
- 道路清掃やゴミ回収の予算が不足している地区に配分する。